KOSÉ Sustainability Plan

美しい知恵　人へ、地球へ。

株式会社コーセー

2020年4月

2022年7月29日　改訂

KOSÉ Sustainability Plan

1946年、コーセー創業者の小林孝三郎は、
人々に夢と希望を与える「化粧品」に限りない情熱を込めて事業を開始しました。

私たちは、「英知と感性を融合し、独自の美しい価値と文化を創造する」ことを存在理念とし、
他にはない価値づくりを先んじて行う「美の創造企業」として、現在まで着実に成長を続けてきました。

その成長は、共に生きて支え合う多くの人々、
そしてそれを支える偉大な地球環境の恩恵があってこそ実現できたものです。

現在、グローバリゼーションや人口構造の変化、人々の在り方やニーズの多様化、
気候変動による温暖化、天然資源の枯渇など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変容しつつあります。

よりよい未来を見据えた、新たな価値づくりの視点から、持続可能な社会の実現を目指し、
今まで以上に私たちの英知と感性を活かしていく必要があると考えます。

コーセーグループでは、人々や地球環境の未来をよりよいものとするための「コーセー　サステナビリティ プラン」を策定し、
グローバル社会の一員としての責任をしっかりと果たしながら、
世界で存在感のある、信頼される企業となることを目指します。

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

サステナビリティ指針

1991年から発信を続けているコーポレートメッセージ「美しい知恵　人へ、地球へ。」を
私たちが持続可能な社会に向けた活動を進めるための「サステナビリティ指針」としても発信していきます。

美しい知恵　人へ、地球へ。

私たちコーセーは、英知と感性、技術と心をもって、
“美しい知恵”で新しい価値を提供してきた、美の創造企業です。

いま、私たちが叶えたいのは、
誰もが自信と活力にあふれ、自分とまわりを認め合える未来。
そして、誰もが安心して暮らせる、すこやかな地球の未来。

その未来を実現するために、
私たちの“美しい知恵”を尽くして貢献することを誓います。

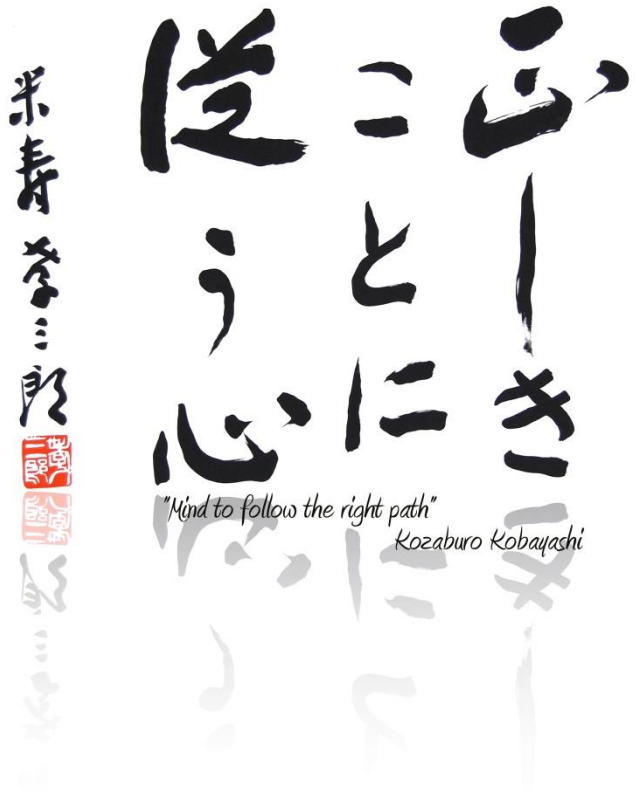
ビューティは、きっと世界を変えられる。
The power of beauty can change the world.

私たちは、美のもつ力を、誰よりも信じています。

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

基盤となるポリシー

「正しきことに従う心」は、コーセー創業者である小林孝三郎の座右の銘でした。
この言葉は、創業以来の企業精神の根幹であり、コーセーグループで働く全員が守るべき「行動憲章」として掲げていますが、
「コーセー　サステナビリティ プラン」における「基盤となるポリシー」と定めました。



正しきことに従う心

正しきことに従うためには
勇気がいります
忍耐がいります
知恵と努力が必要です
柔軟な心と素直さが必要です
今でも　一歩でも近づきたいと
自分の心に言い聞かせている
毎日であります

コーセー創業者　小林孝三郎

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

VISION2026との関わり

「コーセー　サステナビリティ プラン」の策定とともに、コーセーグループの中長期ビジョン「VISION2026」における「3つの基盤」戦略のひとつとして「バリューチェーン全体にわたるサステナビリティ戦略の推進」を設定しました。「VISION2026」達成に向けたあらゆる活動において「サステナビリティ視点」を組み込み実践することで、コーセーグループの事業成長と持続可能な社会の実現を両立していきます。

VISION2026
世界で存在感のある企業への進化

- “一人ひとりのきれい”を追求する企業
- 世界に“先取り”して“独自の価値”をつくり続ける企業
- コーセーを愛する人たちを広め、そこで働く者が誇りを持てる企業
- 世界に通用する多様なブランドと人材を保有する企業

2030
持続可能な社会・地球環境への貢献

■3つの成長戦略

- ブランドのグローバル展開加速
- 独自性のある商品の積極的開発
- 新たな成長領域へのチャレンジ

■2つの価値追求

- デジタルを活用したパーソナルな顧客体験の追求
- 外部リソースや技術と連携した独自の価値追求

■3つの基盤

- 企業の成長を支える経営基盤の構築
- ダイバーシティ＆インクルージョン経営の実践
- バリューチェーン全体にわたるサステナビリティ戦略の推進

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

「コーセー　サステナビリティ プラン」策定・推進のための手順

コーセーグループが取り組むべき重要課題の特定、取り組みテーマの設定・承認・推進を行うために、以下の手順や方法で進めました。

1．社会・環境課題の確認

【コーセーグループが取り組むべき課題の確認】

以下の内容を参考にしながら、コーセーグループが取り組むべき課題を抽出しました。

・ISO26000
・GRIスタンダード
・国連グローバル・コンパクト
・国連　持続可能な開発目標（SDGs）（17の目標と169のターゲット）
・世界情勢・社会情勢（外部評価機関項目、お客様相談室に寄せられた消費者からの声、NPO・NGO団体との対話）
・社内サステナビリティ推進委員会内での意見（計33部門・事業会社）
・同業種・他業種のマテリアリティ

2．取り組みテーマの作成

【取り組み項目の設定】

１で抽出した課題から、「社会（お客さま、取引先、サプライヤー、従業員、株主、地域社会、国際社会、NPO・NGOなど）からの関心度」と「コーセーグループでの重要度と関連度」の２つの軸で評価を行いました。その後、コーセーのサステナビリティ指針である「美しい知恵　人へ、地球へ。」に沿って、「人や社会に関わる項目」と「地球環境に関わる項目」の２つに大別した後、重要な６つの取り組みテーマを選定しました。また、基盤となるポリシー「正しきことに従う心」に沿って、６つの遵守するべき項目も特定しています。

3．　承認

【トップコミットメント】

取締役会およびサステナビリティ委員会にミッション策定の流れと取り組みテーマ、
それを達成するための目標を報告して、承認を受けました。

4．進捗確認と見直し体制

【進捗確認と見直し体制】

サステナビリティ委員会が監督する、グループ横断組織であるサステナビリティ推進委員会において
定期的な進捗状況を確認し、また取り組み自体についても定期的に見直します。

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

コーセーグループを取り巻く社会や環境の変化・課題と重要課題（マテリアリティ）の特定

コーセーグループを取り巻く社会や環境の変化・課題と、関連する機会・リスクを抽出後、21の重要課題（マテリアリティ）を特定しました。

人・社会

現状

- 国際的経済バランスの変化
- 国内人口の減少と少子高齢化
- グローバリゼーションによる人的交流
- 多様なバックボーンの人的交流
- 業種境界線のあいまい化
- IoT　デジタル化への対応
- 日本品質への期待
- 企業ガバナンス体制への監視強化

機会

- 新規市場の開拓（新規国）
- グローバルな人材確保の可能性
- 消費者のジェンダー志向の拡大
- 新規事業への参入可能性増加と異業種との協業による価値創出
- 高品質商品への需要拡大

など

リスク

- グローバル需要への対応不足による売上減少
- パンデミック等の発生による経済停滞
- 国内需要バランスの変化
- 異業種参入の脅威
- コンプライアンスリスクの増加

など

地球環境

現状

- 気候変動（異常気象の激甚化・頻発化）
- 海洋プラスチック問題
- 天然由来資源の枯渇
- 水資源リスクの顕在化

など

機会

- 研究開発イノベーションの創出
- 新規容器素材の採用による価値向上
- 生産体制に対する付加価値創出

など

リスク

- 季節対応型商品の需要バランスの劇的な変化
- 国際規制の強化による輸出入等への影響
- プラスチック容器包装資材利用への批判
- 原材料調達への影響

など

21の重要課題

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

重要課題（マテリアリティ）とテーマ設定

21の重要課題（マテリアリティ）をサステナビリティ指針と基盤となるポリシーに照らし合わせ、「社会・人に関連＝人へ」「環境に関連＝地球へ」「企業基盤に関連＝正しきことに従う心」に分類したのち、「6つの取り組みテーマ」と「6つの遵守するべき項目」として設定しました。

取り組みテーマ（人へ）

- ●アダプタブル発想のモノ・コトづくり
- ●デジタル化社会への適応
- ■アダプタブルな商品・サービスの提供

- ●医療との境界領域での価値提供・貢献
- ●QOL向上　●スポーツ振興支援
- ●労働環境等に配慮した責任ある原材料調達
- ■美しく健康的で幸せな生活のサポート

- ●男女格差の解消
- ●ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ■ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献

取り組みテーマ（地球へ）

- ●マーケティング等を通じた海洋・森林・生態系保全
- ●製品処方での環境負荷低減
- ■ビューティを通じた環境課題への貢献

- ●事業地域の環境保全
- ■事業地域の環境保全

- ●CO_2削減など気候変動への取り組み
- ●水や森林資源の効率的利用
- ●廃棄物削減
- ●サステナブルなパッケージ開発
- ■事業活動全体での環境負荷低減

遵守するべき項目（正しきことに従う心）

- ■コーポレート・ガバナンスの徹底
- ■人権尊重
- ■人材育成
- ■透明性・公正性のある事業運営
- ■安全・安心な品質
- ■お客さま志向

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

KOSÉ Sustainability Plan

サステナビリティ指針

美しい知恵　人へ、地球へ。

取り組みテーマ

人へ

- ■アダプタブルな商品・サービスの提供
- ■美しく健康的で幸せな生活のサポート
- ■ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献

地球へ

- ■ビューティを通じた環境課題への貢献
- ■事業地域の環境保全
- ■事業活動全体での環境負荷低減

基盤となるポリシー

正しきことに従う心

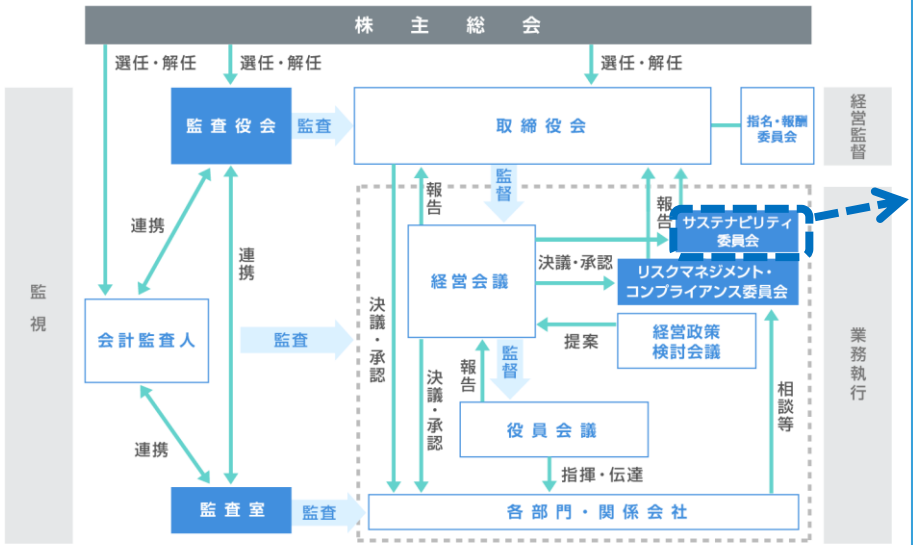
遵守するべき項目

- ■コーポレート・ガバナンスの徹底
- ■人権尊重
- ■人材育成
- ■透明性・公正性のある事業運営
- ■安全・安心な品質
- ■お客さま志向

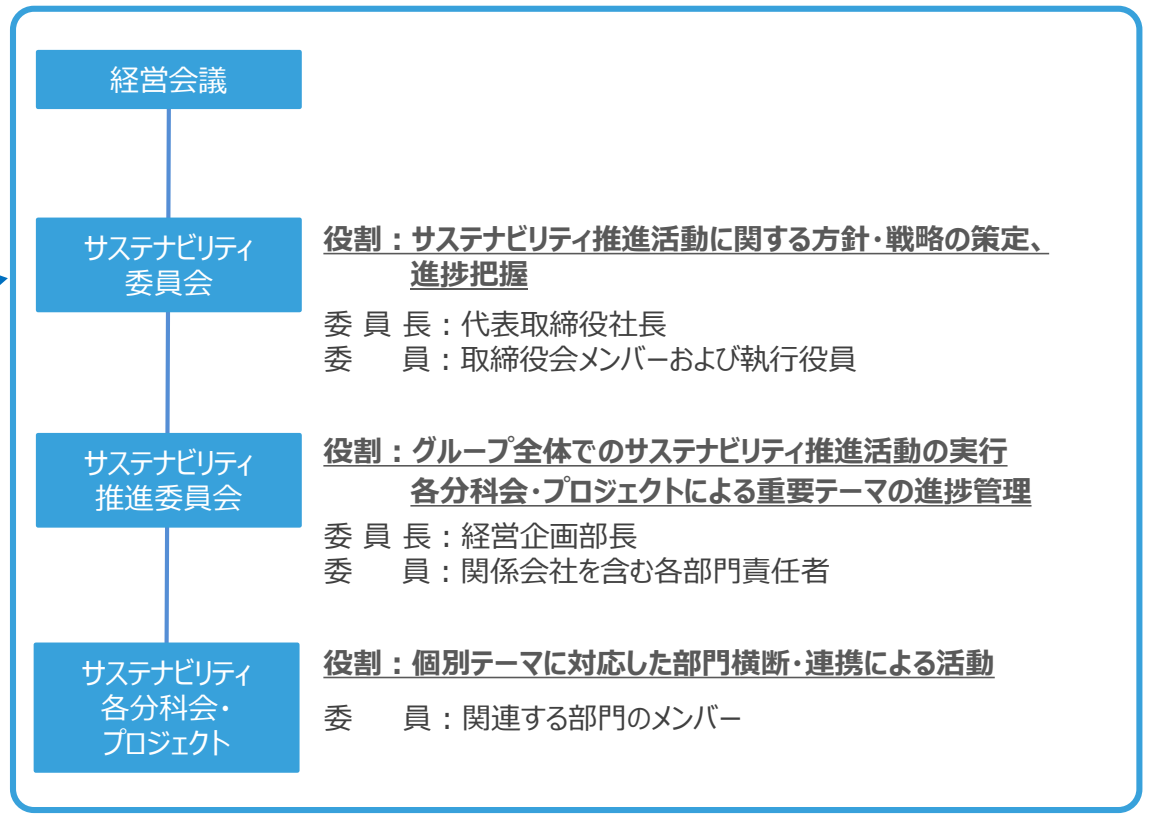
Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

サステナビリティ推進体制

コーセーグループでは、経営課題の一部としてサステナビリティに関連する課題を捉え、その解決に向けた推進体制を整えています。
代表取締役社長が委員長を務める「サステナビリティ委員会」を設置し、サステナビリティ戦略を経営会議に提案、承認を受け、
取締役会に報告を行う体制を構築しています。
また、コーセーグループのサステナビリティ戦略に基づき、「サステナビリティ推進委員会」が個別テーマごとの分科会やプロジェクトを設置し、
全社部門横断の取り組みとして実効性を高めた活動を推進しています。



コーポレート・ガバナンス体制図



Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

取り組みテーマの中長期目標とSDGsとの連動（人へ）

コーセーグループは、2017年７月に「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。
国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の考え方にも賛同し、グループ全体で達成に貢献していきます。

	取り組みテーマ	コミットメント	指標	目標値	達成年	具体的方策例	貢献するSDGs目標
人へ	アダプタブルな商品・サービスの提供	肌の色、ジェンダー、社会的・文化的・地理的背景、生活環境、宗教や信条、身体的特徴など、多様なバックボーンを持つ人々が、自信を持って美しく生きる社会に貢献します。	アダプタブル発想での商品・サービス提供率	100%	2030	・多様な肌色・肌質に沿った商品設計 ・ユニバーサルデザインの採用 ・デジタルを利用したアクセシビリティの向上 ・多様性に応えるビューティテクニックの開発	
	美しく健康的で幸せな生活のサポート	QOL（生活の質）の向上や、次世代への教育啓発活動、フェアトレードなどサプライチェーンを含む労働環境の向上など、誰もが健康的で幸せな生活を送れるよう、社会的課題に積極的に取り組みます。	具体的な取り組み実現	30件以上	2030	・技術開発イノベーション ・健康経営による従業員の健康向上 ・スポーツ振興支援での健康啓発 ・次世代への健康教育と啓発（紫外線防御・保湿）	
			責任あるパーム油の調達	100%	2030	・認証パーム油の調達と使用 ・調達先との人権側面での協働（児童労働などのない調達）	
	ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献	社内・社外を問わず、日本はもちろん、世界のジェンダーギャップが解消されるための取り組みと、啓発活動を行います。	ジェンダー平等の啓発	10万人以上	2030	・社内ダイバーシティ＆インクルージョンの推進 ・ジェンダーギャップに関する教育啓発への取り組み ・女子教育支援への取り組み	

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

取り組みテーマの中長期目標とSDGsとの連動（地球へ）

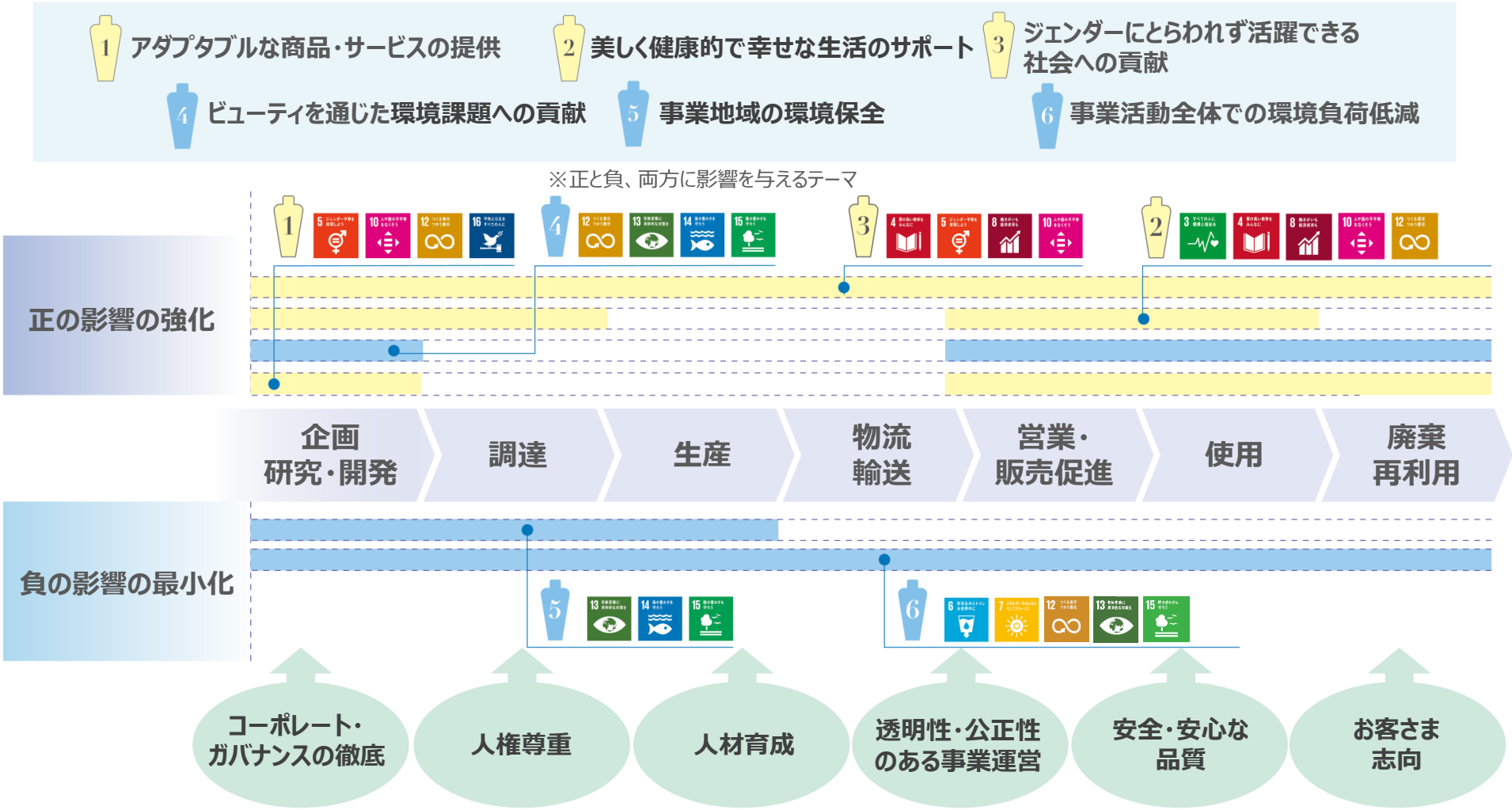
取り組みテーマ		コミットメント	指標	目標値	達成年	具体的方策例	貢献するSDGs目標
地球へ	ビューティを通じた環境課題への貢献	ビューティを基軸としながら、環境課題解決への取り組みを促進します。また、その取り組みを世の中に広く伝え、多くの生活者に環境課題への気づきを与え、ビューティを通じて課題解決の輪を広げます。	植サンゴ面積	20,000m² 25m公認プール面積約53倍	2030	• 雪肌精「SAVE the BLUE」活動の進化 ※目標値は2009年からの累積面積	
			商品・サービスを通じた環境課題の啓発	1,000万人以上	2030	• 雪肌精「SAVE the BLUE」活動の進化 • 各種事業を通じた環境保全、啓発 • ロングセラー製品の育成による、間接資材の節減	
	事業地域の環境保全	地域と共存共栄し、地域環境へ影響を与えうる生産拠点を中心に、環境保全に対する取り組みを行います。	地域環境保全活動	20件以上	2030	• 南アルプス周辺など、関連会社も含む生産、研究拠点などを中心とした事業地域での環境保全活動	
	事業活動全体での環境負荷低減	CO_2排出量の削減	Scope 1・2	▲55% 2018年比・総量目標	2030	• 再生可能エネルギーの利用 • エネルギー効率のよい設備などの導入 • 革新的技術の活用 • 燃料転換の実施 • バリューチェーン全体でのCO_2削減	
				カーボンニュートラル	2040		
			Scope 3	▲30% 2018年比・総量目標	2030		
		プラスチック容器包装資材についてのサステナビリティに配慮した設計		100%	2030	• 4R※に適合した容器包装資材の採用 ※Reduce/Reuse/Recycle/Renewable • 2030年までにバイオマス/リサイクル樹脂の採用比率（樹脂量）を50%まで高める	
		責任ある資源利用のための廃棄物削減		廃棄物削減および資源循環の新規取り組み20件以上	2030	• 廃棄時に分別やリサイクルしやすい環境配慮設計の推進 • 調達先と廃棄物削減面での協働	
				リサイクルされない廃棄物ゼロ*	2025	• 廃棄物削減の3R※の推進など ※Reduce/Reuse/Recycle	
		責任ある水資源利用のための使用量削減		▲12%* 2018年比・生産原単位	2030	• 水資源の3R※の推進など ※Reduce/Reuse/Recycle	
		環境保護を推進し、社会と共に発展すべく、持続可能なパーム油調達を実現します。	責任あるパーム油の調達	100%	2030	• 認証パーム油の調達と使用 • 調達先との環境面での協働	

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

＊ コーセーグループ生産部門

取り組みテーマとバリューチェーンへのインパクト

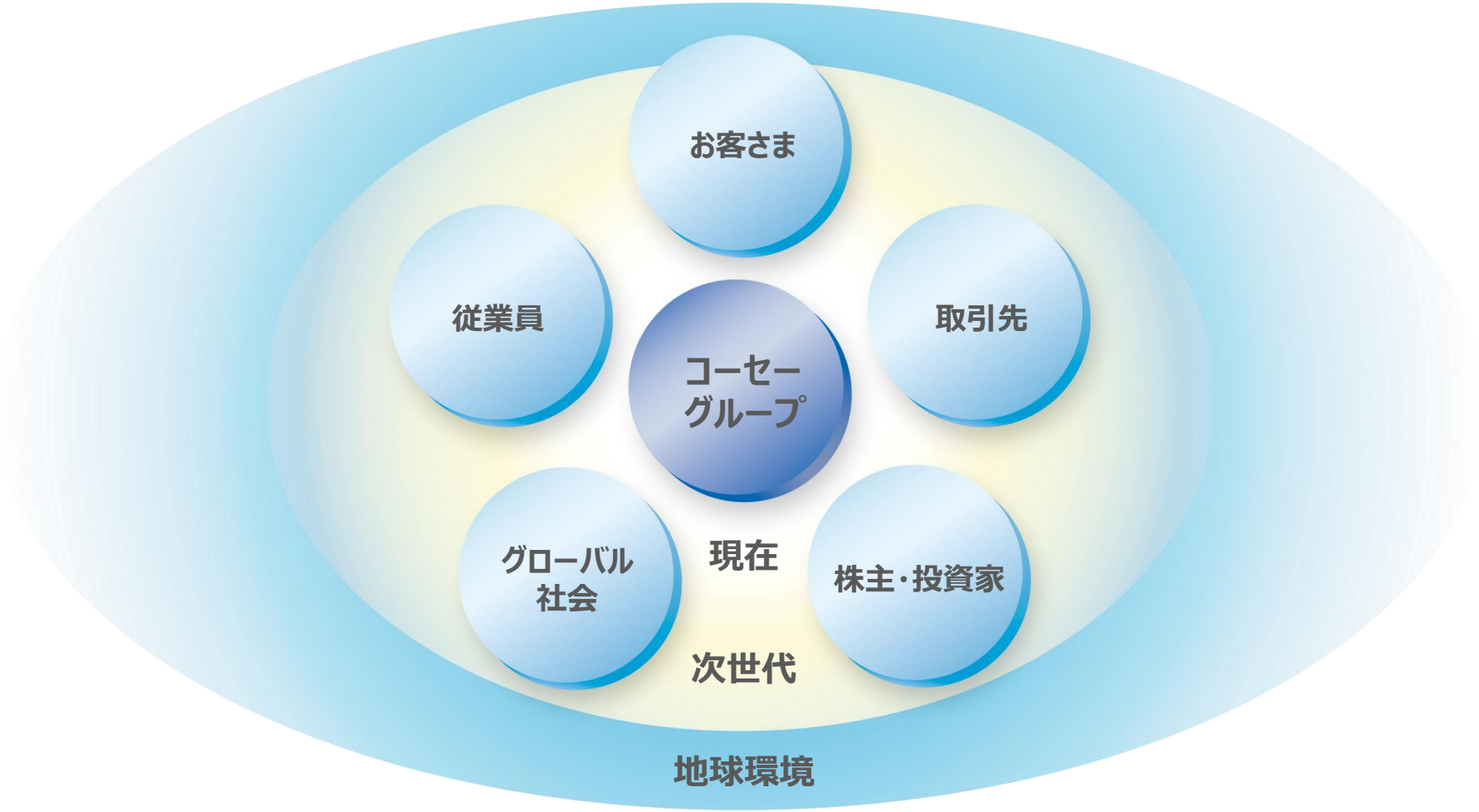
「コーセー　サステナビリティ プラン」で定めた６つの取り組みテーマは、企画・研究・開発・原材料の調達から廃棄に至るまでの製品ライフサイクルとバリューチェーンすべてにおいて関わりがありますが、特に大きなインパクトを与えると考えられるバリューチェーンを特定しました。また、６つの遵守するべき項目は、バリューチェーンすべてに関連するものと考えています。



Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

コーセーグループのステークホルダー

コーセーグループは、すべての活動において、次世代も含めたあらゆるステークホルダーとのつながりを大切にしています。
また、企業活動のベースとなる地球環境も、重要なステークホルダーのひとつとして考えています。



Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

ステークホルダーとのエンゲージメント

コーセーグループは、あらゆるステークホルダーとエンゲージメントを深める活動を行っています。ステークホルダーの皆さまからいただいたご意見や評価は、「コーセー　サステナビリティ プラン」における取り組みや企業活動へ適切に反映させるよう努めています。

ステークホルダー		コミュニケーション　コンタクトポイント	頻度	内容
お客さま		お客様相談室	随時	電話・メール・手紙・チャットでのご意見対応／ 社内フィードバック機能の運営
		Maison KOSÉ（WEB／店舗）	随時	会社情報 事業内容の発信およびご意見対応
		自社運営各種SNSアカウント	随時	会社情報 事業内容の発信、コメント集約
取引先	販売店	各種会議体、イベント、セミナー　など	随時	企業や事業方針の共有とご意見集約
	サプライヤー	購買方針説明会	年１回	責任ある調達のための情報共有・協働
		アンケート	年１回	
		直接個別対話　　など	随時	
従業員（リクルーターを含む）		経営協議会／労使検討会	年数回	協議・交渉、意見交換、相互理解
		従業員の相談窓口、社内通報システム	随時	秘密保持性のある救済措置システムの提供
		全従業員向け階層別研修 インターンシップセミナー　　など	年数回	企業や人材育成方針の共有と意見交換
グローバル社会	地域コミュニティ	各種ビューティセミナー 地域での協賛活動　　など	随時	地域住民との交流 会社情報　事業内容の共有、理解促進
	多様な ステークホルダー	業界団体への参加 NPO・NGO団体との対話 各種イニシアチブ等への参加　　など	随時	社会課題の共通認識と社内PDCAサイクルへの活用
株主・投資家		株主総会	年１回	事業報告、連結計算書類、計算書類、監査結果の報告および 決議事項の審議および決議
		決算説明会	年２回	決算概況、経営戦略、事業取り組みなどの情報発信
		投資家との個別対話・統合報告書・サステナビリティ ウェブサイトでの開示　　など	随時	決算情報、経営戦略、事業内容などの説明、発信、 情報開示

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.

改訂履歴

改訂日	ページ	主な改訂内容（概要）
2021年3月31日	11	「CO_2排出量の削減」目標の改定
2021年4月30日	11	「責任ある資源利用のための廃棄物削減目標」の新規設定
2022年7月29日	11	「CO_2排出量の削減」目標の改定

Copyright © 2022 KOSÉ corporation. All Rights Reserved.